

# 「福祉の心」をとりもどそう

## 1 争点 暮らし壊す国の悪政、追いうちの自民・公明・民主の府・市政 日本共産党と、「福祉の心」取り戻そう

国の悪政から住民の福祉と暮らしを守ることこそ、地方自治体の役目。ところが、大阪府でも大阪市、堺市でも、輪をかけた冷たい政治が進められてきました。

### 介護保険料、国保料大幅値上げ、その上国保証取り上げ

介護保険料は大幅に値上げされ、15の政令市で堺市1位、大阪市3位の高さ。国保料も堺市2位、大阪市4位です。その上、国保証の取り上げ（資格証の発行）は、5年間で6.4倍にも。医者に行けず手遅れになる人まで出ています。自民、公明、民主はこんな冷たいやり方を、後押ししてきました。

### 弱者に追い討ちかける生活保護見舞い金廃止

最後の命の綱が生活保護。しかし、国は老齢加算をやめ、母子加算の廃止も計画しています。府や大阪市はそれに追い討ちをかけ夏期・歳末のわずかな見舞金まで廃止してしまいました。冷たい限りです。

1.3か月分の年金がなくなる!  
**スーパー雪だるま負担増**

[大阪市]

04年 9万3千円

06年 22万3千円

08年 35万2千円

年金20万円のお年寄りの税金と  
国保・介護保険料合計

### ごいっしょに介護保険料、国保料値下げの大運動を

日本共産党議員団は、府民の運動と力をあわせ、府民の暮らしを守ってきました。

大阪市では13万を超える請願署名など市民の運動と連携し、敬老パスを守りました。18回も子どもの医療費を無料にする条例を提案し、小学校就学前まで無料になりました。府議会でも少人数学級を早くから要求。04年、小学1、2年生から段階的に35人学級が始まりました。

いま、介護保険料、国保料値下げの大運動をすすめています。

府民の運動と力あわせ、暮らしを守る **日本共産党**

## 2 争点 ケタはずれのムダづかいただそう

関空二期工事やりんくうタウンなど、見通しのない巨大開発は、すべて巨額の赤字を出して破綻は明らか。先頭きってすすめてきた自民、公明、民主の責任は重大です。ゼネコン・大企業から一円ももらわない日本共産党だから、きっぱり中止・見直しが主張できるのです。



夢舞大橋

635億円かけて一度も使ったことのない巨大橋。市幹部も「巨額の税金を使ったガラクタと批判されかねない」と。(05年11月朝日新聞)



りんくうタウン

6954億円かけた関空対岸の埋立地。企業の進出が進まず、17年たっても分譲率45%。最終赤字は1800億円の見込み。



箕面の滝も枯らす  
赤字ニュータウン

全部売れても750億円赤字必至の「水と緑の健康都市」開発。アクセス道路が環境を破壊し、観光名所箕面の滝を枯らしてしまいました。(現在はポンプでくみ上げ)

## 3 争点 不公正な同和行政の完全終結を



大阪府・市合わせて320億円の貸付金・補助金を不正に流用していた部落解放同盟系の「芦原病院事件」。「飛鳥会事件」では、部落解放同盟支部長が、大阪市から運営を委託された駐車場事業で1億3120万円を横領、逮捕されました。

日本共産党は、30年以上前から勇気をもって同和行政の不正・腐敗を追及。ついに部落解放同盟幹部逮捕に追い込んだのです。

一方自民、公明、民主は不公正な同和予算に、いっかんして賛成。そればかりか、4年前の府議選では民主党19人、公明党8人が部落解放同盟から推薦を受けています。自民党府連も牛肉偽装事件で有罪判決を受けた部落解放同盟系食肉業者にパーティー券を買ってもらうなど、癒着してきました。